

高校教育に関するアンケート調査結果についての御報告

1. アンケート実施の概要

- 県内における高校教育の在り方や高校改革等について、県内の中学生、高校生及び保護者等の考えや意見を把握し、これまでの取組の検証を行うとともに、今後の高校改革推進のための資料を得ることを目的として、以下のアンケート調査を実施しました。

調査目的

- 県内における高校教育の在り方や高校改革等について、県内の中学生、高校生及び保護者等の考えや意見を把握し、これまでの取組の検証を行うとともに、今後の高校改革推進のための資料を得ることを目的とする。

【中学生向け調査概要】

【高校生向け調査概要】

手法

- 各学校から依頼、回答はウェブ上で回収

- 各学校から依頼、回答はウェブ上で回収

期間

2021年4月27日～5月28日

2021年4月20日～5月20日
 （当初5月14日までのところ回収率向上が見込まれた為、20日まで延長）

配布・回収数

中学3年生徒 10,654人(回収数:5,844、回収率:55%)
 中学3年保護者 10,654人(回収数:3,673、回収率:34%)

高校1年生徒 6,784人(回収数:4,962、回収率:73%)
 高校2年生徒 7,024人(回収数:4,582、回収率:65%)
 高校1年保護者 6,784人(回収数:2,750、回収率:41%)
 高校2年保護者 7,024人(回収数:2,600、回収率:37%)

対象者

県内全域の市町立中学校第3学年の生徒及び保護者

県内全域の公立全日制高等学校等第1・2学年の生徒及び保護者

1. アンケート実施の概要

- 調査項目は以下の通りです。

【中学生向け調査概要】

1. 現在、居住している市町はどこですか。
2. 中学生・中学生の保護者、どちらかを選んでください。
3. 所属する学年全体の学級数について、当てはまるものを選んでください。
4. 中学校卒業後、どのような進路（進学・就職）を考えていますか。
5. 中学校卒業後、県内または県外のどちらに進学・就職したいと考えていますか。
6. 進路先について、「県内」を選択した理由を選んでください。
7. 進路先について、「県外」を選択した理由を選んでください。
8. 中学卒業後、進学したい学校（公立高校、私立高校、高専等）を選んでください。
9. 現在どの学科を第一希望としていますか。
10. 高校卒業後どのような進路（進学・就職）を考えていますか。
11. 高校卒業後、県内または県外のどちらに進学・就職したいと考えていますか。
12. 高校卒業後の進路先について、「県内」を選択した理由を選んでください。
13. 高校卒業後の進路先について、「県外」を選択した理由を選んでください。
14. 高校を選ぶ際(お子さんの高校進学の際)、どのような点を重視しますか。
15. 高校の教育について、どのようなことを望みますか。
16. どんな高校を望みますか。
17. 高校生として身に付けることが重要な資質・能力は何だと思えますか。
18. オンラインを活用した学習にどのようなことを期待しますか。
19. 今後、高校と地域の関わり方について、どのようなことを望みますか。
20. 本県では、選択幅の広い教育や、活力ある教育活動を展開するために、県立高校全日制課程の望ましい学校規模を、1 学年 4 ～ 8 学級とし、高校の再編統合等を進めてきたところです。あなたは、今後の県立高校の再編整備にあたり、どのようなことを望みますか。最もあてはまるものを選んでください。

【高校生向け調査概要】

1. 現在、居住している市町はどこですか。
2. 学年を選んでください。
3. 所属する学年(年次)全体の学級数について、当てはまるものを選んでください。
4. 現在どの学科で学んでいますか。
5. 高校進学時、現在在学している学校・学科を第一希望としていましたか。
6. 高校卒業後どのような進路（進学・就職）を考えていますか。
7. 高校卒業後、県内または県外のどちらに進学・就職したいと考えていますか。
8. 高校卒業後の進路先について、「県内」を選択した理由を選んでください。
9. 高校卒業後の進路先について、「県外」を選択した理由を選んでください。
10. 高校を選ぶ際(お子さんの高校進学の際)、どのような点を重視しましたか。
11. 高校に入学してみて、入学前に考えていた高校のイメージと合っていますか。
12. 高校生活に満足していますか。
13. 高校の教育について、どのようなことを望みますか。
14. どんな高校を望みますか。
15. 高校生として身に付けることが重要な資質・能力は何だと思えますか。
16. オンラインを活用した学習にどのようなことを期待しますか。
17. 今後、高校と地域の関わり方について、どのようなことを望みますか。
18. 本県では、選択幅の広い教育や、活力ある教育活動を展開するために、県立高校全日制課程の望ましい学校規模を、1 学年 4 ～ 8 学級とし、高校の再編統合等を進めてきたところです。あなたは、今後の県立高校の再編整備にあたり、どのようなことを望みますか。最もあてはまるものを選んでください。

赤字：中学特有の項目 青字：高校特有の項目

第2回協議会の御報告事項まとめ

視点

子ども(保護者)
が高校にどうい
った学び/機会を求
めているか

- ① 「自分の興味・関心や進路希望に応じて、学びたい教科や科目が選択できる教育」を60%の子どもたちが望まれていました。
 - 多様な学びへのニーズが存在（大学進学や進路を決めていない子ども達がいる）
- ② 地域別にその傾向は変わらないが、学科別にみると普通科系の学科でその傾向が強くなっていました。一方で専門学科では「資格取得のための学習ができる教育」が重視されていました。
 - 地域別に子ども達のニーズが大きく変わっているわけではない。地域ごとにまだ進路を決め切れていない子ども達等の要望に沿った普通科系の学科が必要。
- ③ 「授業や部活動等を活性化するため、望ましい学校規模を確保した学校を設置する」が最も多くなっており、「教育内容の特色、生徒や地域の状況に応じた適切な規模の学校を設置する」も多くなっていました。
 - 地域ごとの実情を勘案しつつも、授業や部活動等の活性化を求めるニーズへの対応が必要。

アンケート結果（高校生・生徒 | 学科別）（13/18）

- 学科別にみると専門学科においては「資格取得のための学習ができる教育」を重視している子どもが多くなっており、普通科系の学科とその傾向が異なっていました。

あなたは、高校の教育について、どのようなことを望みますか。（3つまで回答可）

項目	自分の興味・関心や進路希望に応じて、学びたい教科や科目が選択できる教育	大学等への進学に対応した高い学力を育む教育	職業教育を中心としながら、進学にも対応できる教育	専門的な知識や技術の習得に重点をおいた教育	専門科目に関する施設・設備が充実した環境での教育	資格取得のための学習ができる教育	情報化社会の進展に対応して、ICTを積極的に活用した教育	先生だけでなく、地域の人と一緒に課題を解決する学習を行う教育	グローバル人材として必要な語学力やコミュニケーション能力を育む教育	学び直しや基本的な知識・技能の習得ができる教育	社会人として必要なマナーや礼儀・責任感を身に付けさせる教育	特にない
全体	61%	30%	13%	16%	8%	25%	10%	4%	12%	12%	28%	7%
普通科	65%	49%	8%	5%	3%	10%	11%	4%	15%	14%	27%	7%
普通科（体育コース）	88%	19%	6%	19%	28%	0%	13%	3%	22%	0%	41%	0%
理数科	69%	73%	3%	6%	9%	6%	21%	4%	22%	8%	20%	4%
探究科	75%	66%	9%	5%	3%	4%	13%	5%	35%	9%	19%	2%
英語科	80%	24%	4%	8%	5%	17%	5%	5%	45%	9%	9%	4%
農業系学科	59%	5%	16%	35%	20%	39%	6%	7%	5%	8%	27%	9%
工業系学科	48%	5%	22%	37%	15%	51%	6%	2%	5%	11%	30%	8%
商業系学科	51%	7%	26%	21%	9%	55%	12%	3%	9%	6%	42%	6%
水産系学科	54%	6%	16%	43%	18%	46%	4%	1%	4%	10%	7%	12%
家庭系学科	57%	4%	17%	36%	11%	35%	3%	3%	4%	14%	20%	9%
看護科	40%	3%	6%	65%	41%	43%	5%	2%	3%	7%	27%	1%
福祉科	67%	33%	0%	0%	0%	33%	0%	17%	0%	0%	17%	0%
地域創生科	87%	7%	27%	60%	13%	40%	7%	27%	0%	0%	27%	0%
総合学科	70%	14%	10%	18%	8%	22%	7%	5%	9%	12%	27%	12%
未定	70%	10%	40%	0%	0%	30%	20%	0%	0%	0%	20%	20%

アンケート結果（高校生・生徒 | 学科別）（14/18）

- 学科別にみると、普通科系の学科では「学力向上をめざした進学に重点を置いた高校」が望まれており、専門学科では「就職に応じた職業教育に重点を置いた高校」が望まれていることが分かります。

あなたは、どんな高校を望みますか。（3つまで回答可）

項目	学力向上をめざした進学に重点を置いた高校	就職に応じた職業教育に重点を置いた高校	地域と連携・協働した探究的な学びに重点的に取り組む高校	理系・文系等、分野にとらわれず複合的で分野横断的な学びに重点的に取り組む高校	普通、農業、工業、商業、家庭等の1学科のみを置いた高校	複数の学科を設置し、学科を越えて連携・協働した学びができる高校	教科・科目が選択できる総合学科や単位制高校	6年間を通して夢の実現に向けた学習に重点を置いた中高一貫教育校	通学するのに便利な学校	特にない
全体	47%	30%	15%	17%	4%	15%	16%	4%	27%	10%
普通科	67%	11%	13%	23%	2%	11%	15%	5%	29%	8%
普通科（体育コース）	53%	3%	16%	28%	3%	25%	19%	6%	9%	9%
理数科	85%	7%	13%	27%	0%	11%	12%	8%	28%	5%
探究科	80%	6%	35%	34%	3%	12%	9%	3%	22%	2%
英語科	43%	1%	17%	15%	0%	24%	21%	5%	20%	16%
農業系学科	15%	49%	24%	7%	8%	31%	14%	1%	19%	14%
工業系学科	21%	70%	17%	9%	9%	19%	8%	2%	26%	11%
商業系学科	27%	52%	17%	10%	5%	23%	12%	3%	25%	11%
水産系学科	27%	61%	15%	7%	3%	12%	6%	4%	17%	21%
家庭系学科	16%	43%	16%	3%	11%	23%	19%	4%	26%	17%
看護科	25%	43%	8%	6%	1%	28%	11%	0%	31%	14%
福祉科	33%	50%	0%	0%	0%	17%	33%	0%	33%	0%
地域創生科	27%	40%	87%	13%	0%	27%	20%	20%	33%	0%
総合学科	31%	24%	11%	15%	3%	15%	38%	2%	23%	16%
未定	50%	40%	20%	0%	0%	10%	10%	10%	20%	30%

アンケート結果（中学生・生徒 | 地域別）

- 中学生は地域別に多少の違いはあるものの普通科系学科を希望する割合が過半数を占めていることが分かります。
- 子どもたちが普通科系の学科に通えるような体制を築いていくことは求められると考えています。
- 他方、地域ごとに異なる専門学科へのニーズも存在し、こちらへの対応も同時に求められます。

あなたは、現在どの学科を第一希望としていますか。

項目	普通科	普通科 (体育 コース)	理数科	探究科	英語科	農業系学 科	工業系学 科	商業系学 科	水産系学 科	家庭系学 科	看護科	福祉科	地域創生 科	総合学科	未定	その他
全体	53%	2%	2%	1%	1%	1%	11%	5%	0%	1%	2%	1%	0%	3%	14%	3%
岩国市	47%	2%	3%	0%	0%	0%	16%	3%	0%	0%	2%	1%	0%	5%	17%	3%
和木町	67%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%
柳井市	41%	5%	2%	0%	0%	10%	13%	5%	0%	2%	3%	0%	0%	2%	16%	3%
周防大島町	68%	4%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	22%	4%
上関町	63%	0%	0%	0%	0%	0%	13%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	13%	13%	0%
田布施町	75%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
平生町	47%	4%	1%	0%	0%	8%	11%	9%	0%	2%	1%	0%	0%	2%	8%	7%
下松市	57%	1%	2%	0%	1%	0%	17%	3%	0%	1%	1%	0%	0%	4%	8%	2%
光市	56%	1%	1%	0%	0%	2%	16%	2%	0%	0%	1%	0%	0%	2%	14%	3%
周南市	51%	2%	2%	0%	2%	1%	15%	5%	0%	1%	3%	1%	0%	2%	14%	2%
山口市	63%	4%	2%	0%	0%	3%	5%	3%	0%	1%	3%	0%	0%	2%	11%	2%
防府市	47%	3%	2%	0%	1%	1%	5%	8%	0%	1%	4%	2%	0%	3%	18%	4%
宇部市	53%	2%	2%	4%	0%	0%	15%	2%	0%	1%	1%	0%	0%	1%	14%	4%
山陽小野田市	58%	3%	0%	2%	0%	1%	9%	3%	0%	3%	2%	1%	0%	1%	14%	3%
美祢市	61%	4%	1%	0%	0%	2%	6%	4%	1%	5%	0%	0%	0%	2%	13%	0%
下関市	52%	3%	1%	3%	0%	0%	9%	6%	0%	2%	2%	0%	0%	4%	14%	3%
萩市	43%	4%	2%	9%	0%	0%	8%	13%	2%	0%	1%	1%	0%	2%	12%	2%
長門市	70%	0%	1%	0%	1%	1%	6%	4%	0%	1%	2%	2%	0%	0%	10%	1%
阿武町	67%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	0%

今回の分析における主な視点

- ・今回は主に「子どもたちの県外高校への流出の意向/その理由」と「子どもが求める適正な学校規模」という2つの視点に立って結果を御説明します。

高校生活の
満足度

高校卒業後の
希望進路

高校生の地域への
関わり方への期待

視点

子どもたちの県外
高校への流出の
意向/その理由
(中学生の希望進路)

視点

子ども（保護
者）が求める適
正な学校規模

オンライン学習
への期待

高校生活のイメ
ジと実態の乖離

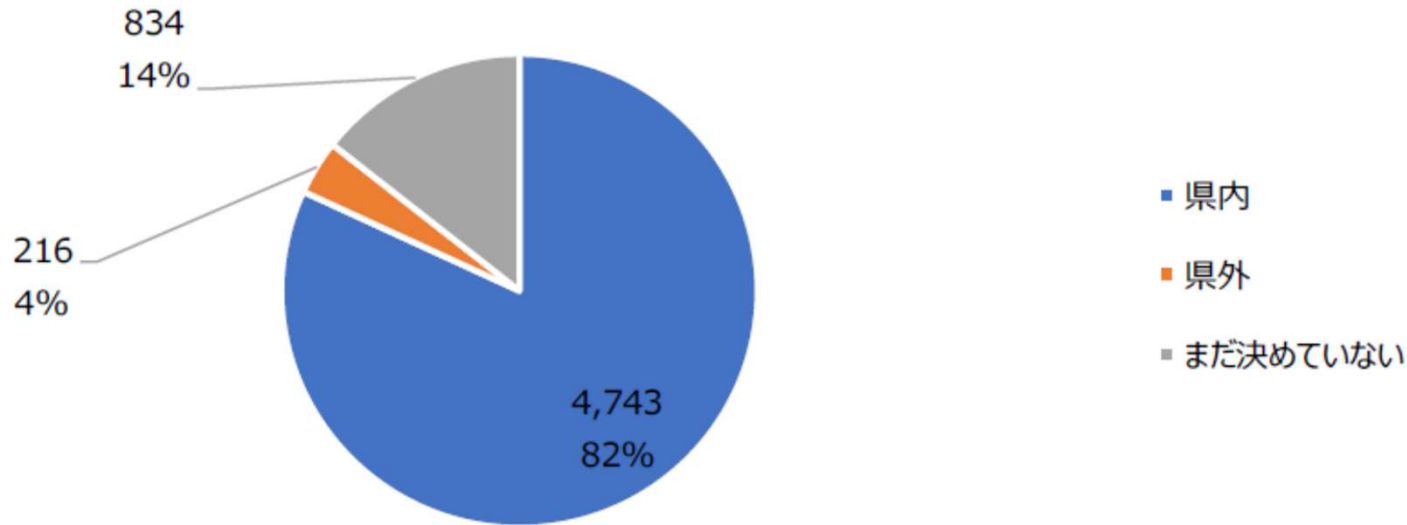
高校において身に
付けるべき能力

アンケート結果（中学生・生徒 | 単純集計）（5/20）

- 中学卒業後の県外への流出意向は県全体で3.7%と低水準となっていました。
- 地域別にみると岩国、和木、柳井、周防大島、下関が比較的高くなっていました。

※ 和木はサンプル数が少ない。

あなたは、中学校卒業後、県内または県外のどちらに進学・就職したいと考えていますか。



項目	回答数	割合
県内	4,743	81.9%
県外	216	3.7%
まだ決めていない	834	14.4%

項目	県内	県外	まだ決めていない
全体	82%	3.7%	14%
岩国市	74%	5.5%	21%
和木町	33%	66.7%	0%
柳井市	83%	4.8%	13%
周防大島町	75%	6.5%	18%
上関町	100%	0.0%	0%
田布施町	25%	0.0%	75%
平生町	93%	2.2%	4%
下松市	84%	3.5%	13%
光市	84%	3.4%	12%
周南市	84%	4.1%	12%
山口市	84%	3.5%	12%
防府市	83%	2.7%	14%
宇部市	81%	3.0%	16%
山陽小野田市	83%	1.5%	15%
美祢市	87%	1.2%	12%
下関市	79%	4.8%	16%
萩市	87%	2.7%	11%
長門市	86%	2.4%	12%
阿武町	50%	0.0%	50%

県外流出の状況（第2回協議会「参考資料」より）

- ・ 県外への進学率は地域ごとに傾向が異なります。
- ・ 県外への進学率が高い地域(岩国、下関、萩)では、意向調査の結果(P9)よりも実際の県外進学率が高い傾向がみられ、子ども達のニーズに応える上でも対策が必要となります。

○ 中学校卒業時点

卒業年月	県外への進学者数		進学先の状況			
		選抜性の高い大学への進学希望	広島県	福岡県	島根県	その他
H29.3	345	17	84	88	49	124
H30.3	336	22	94	86	41	115
H31.3	365	29	90	95	31	149
R2.3	379	35	94	102	57	126
R3.3	384	40	93	107	44	140

地域別（令和3年度）

地域	県外への進学者数		進学先の状況			
		選抜性の高い大学への進学希望	広島県	福岡県	島根県	その他
岩国	95	10	74	5	2	14
柳井	18	1	3	1	1	13
周南	41	5	4	9	6	22
防府	69	3	5	9	15	40
厚狭	24	1	2	9	1	12
下関	101	15	2	69		30
萩	28	3	1	2	19	6
その他	8	2	2	3		3
全県	384	40	93	107	44	140

詳細

目的	勉学	スポーツ	文化	その他	不明	計
人数	130	127	16	108	3	384
計に対する割合	33.9%	33.1%	4.2%	28.1%	0.8%	

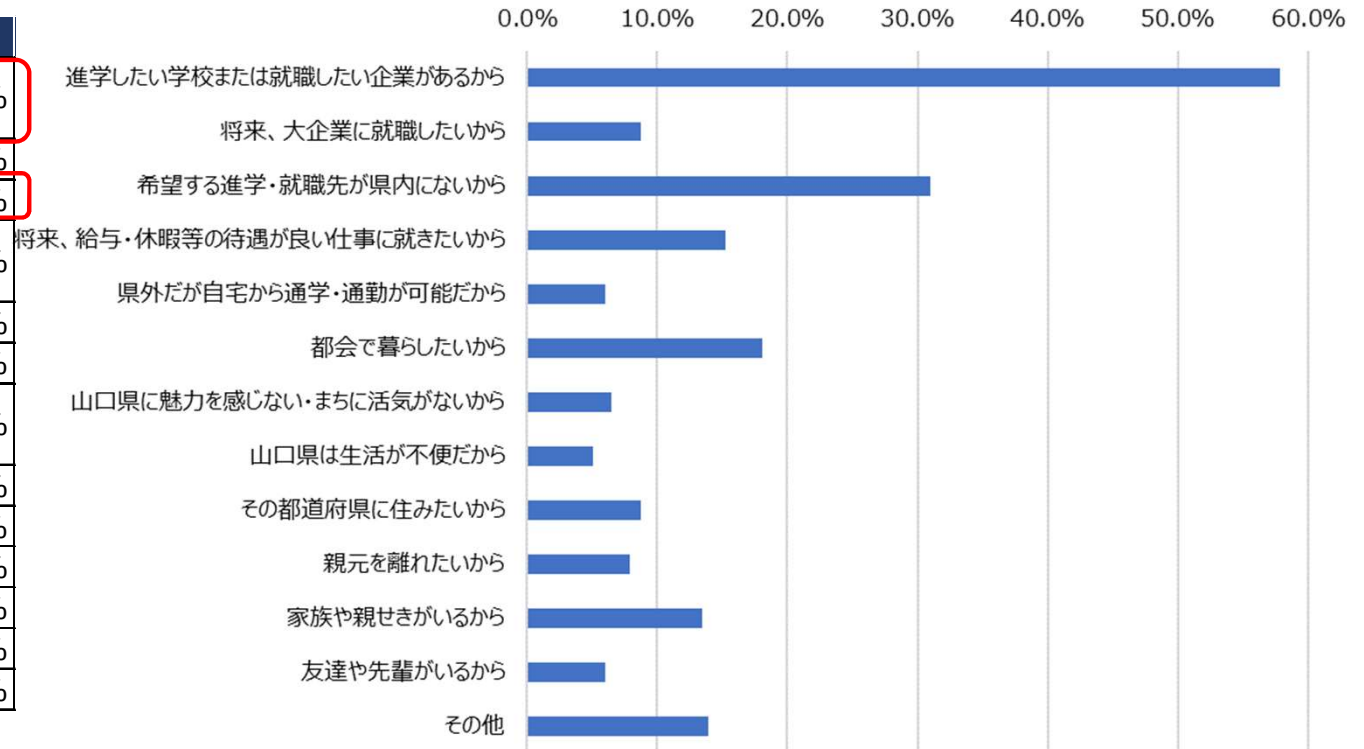
令和3年3月時点	中学卒業業者数	県外への進学者数	県外への進学率
岩国	1,168	95	8.1
柳井	555	18	3.2
周南	2,083	41	2.0
防府	2,767	69	2.5
厚狭	2,043	24	1.2
下関	1,995	101	5.1
萩	605	28	4.6

アンケート結果（中学生・生徒 | 単純集計）（7/20）

- 「進学したい学校または就職したい企業があるから」、「希望する進学・就職先が県内にないから」の割合が多くなっていました。

あなたが、進路先について、「県外」を選択した理由を選んでください。（3つまで回答可）

項目	回答数	選択割合
進学したい学校または就職したい企業があるから	125	57.9%
将来、大企業に就職したいから	19	8.8%
希望する進学・就職先が県内にないから	67	31.0%
将来、給与・休暇等の待遇が良い仕事に就きたいから	33	15.3%
県外だが自宅から通学・通勤が可能だから	13	6.0%
都会で暮らしたいから	39	18.1%
山口県に魅力を感じない・まちに活気がないから	14	6.5%
山口県は生活が不便だから	11	5.1%
その都道府県に住みたいから	19	8.8%
親元を離れたいから	17	7.9%
家族や親せきがいるから	29	13.4%
友達や先輩がいるから	13	6.0%
その他	30	13.9%

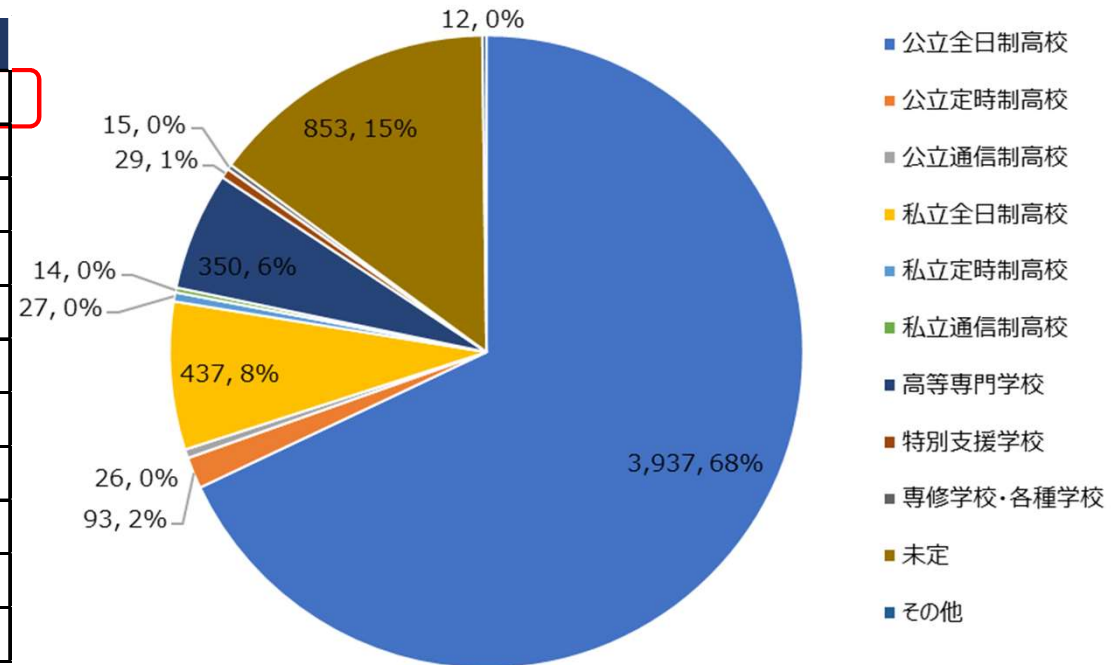


アンケート結果（中学生・生徒 | 単純集計）（8/20）

- ・「公立全日制高校」の割合が多くなっていました。
- ・子ども達のニーズへの対応として、公立高校が大きな役割を担うことになると思っています。

あなたが中学卒業後、進学したい学校を選んでください。

項目	回答数	割合
公立全日制高校	3,937	68.0%
公立定時制高校	93	1.6%
公立通信制高校	26	0.4%
私立全日制高校	437	7.5%
私立定時制高校	27	0.5%
私立通信制高校	14	0.2%
高等専門学校	350	6.0%
特別支援学校	29	0.5%
専修学校・各種学校	15	0.3%
未定	853	14.7%
その他	12	0.2%

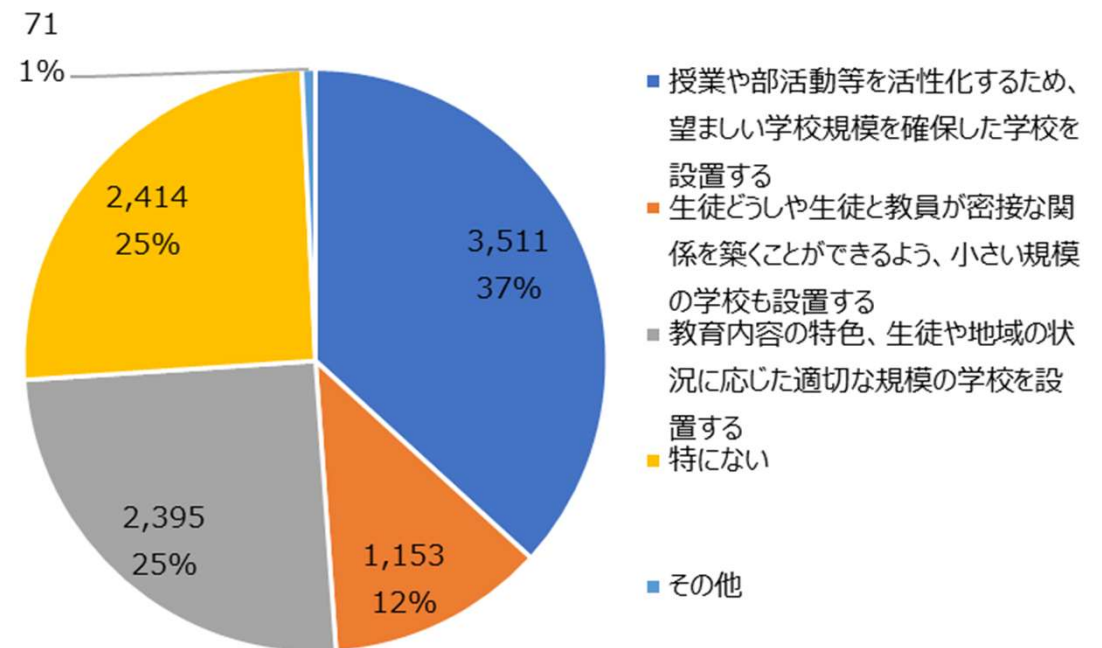


アンケート結果（高校生・生徒 | 単純集計）（18/18）

- 学校規模に関して「授業や部活動等を活性化するため、望ましい学校規模を確保した学校を設置する」が最も多くなっており、「教育内容の特色、生徒や地域の状況に応じた適切な規模の学校を設置する」についてもニーズがあることが分かりました。

本県では、選択幅の広い教育や、活力ある教育活動を展開するために、県立高校全日制課程の望ましい学校規模を、1学年4～8学級とし、高校の再編統合等を進めてきたところです。あなたは、今後の県立高校の再編整備にあたり、どのようなことを望みますか。最もあてはまるものを選んでください。

項目	回答数	割合
授業や部活動等を活性化するため、望ましい学校規模を確保した学校を設置する	3,511	36.8%
生徒どうしや生徒と教員が密接な関係を築くことができるよう、小さい規模の学校も設置する	1,153	12.1%
教育内容の特色、生徒や地域の状況に応じた適切な規模の学校を設置する	2,395	25.1%
特にない	2,414	25.3%
その他	71	0.7%

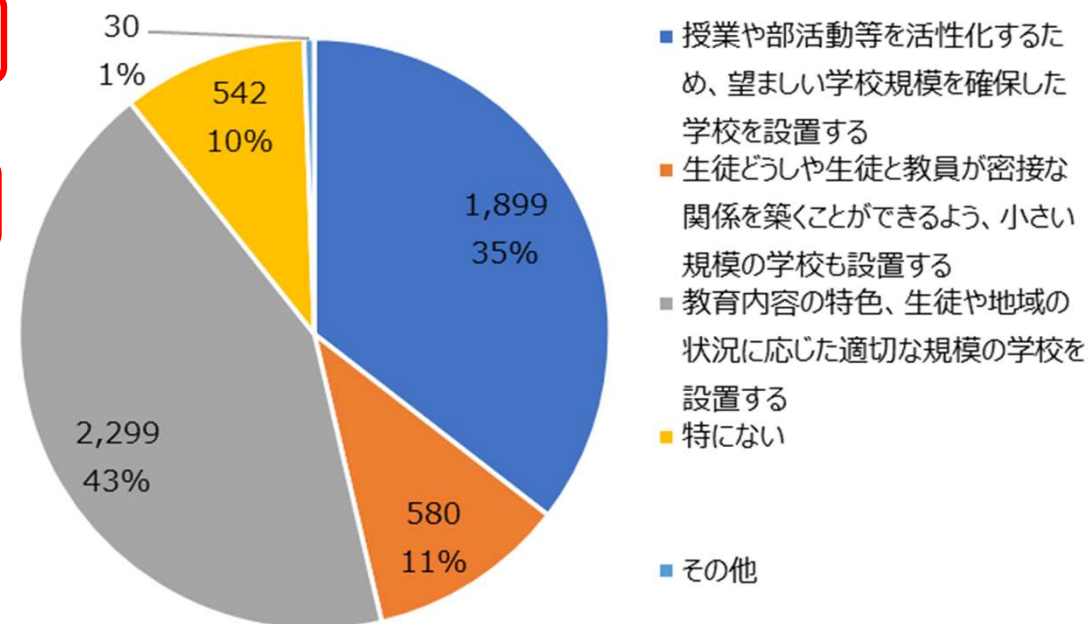


アンケート結果（高校生・保護者 | 単純集計）（18/18）

- 「教育内容の特色、生徒や地域の状況に応じた適切な規模の学校を設置する」が最も多くなっており、「授業や部活動等を活性化するため、望ましい学校規模を確保した学校を設置する」についてもニーズが高いことが分かりました。

本県では、選択幅の広い教育や、活力ある教育活動を展開するために、県立高校全日制課程の望ましい学校規模を、1学年4～8学級とし、高校の再編統合等を進めてきたところです。あなたは、今後の県立高校の再編整備にあたり、どのようなことを望みますか。最もあてはまるものを選んでください。

項目	回答数	割合
授業や部活動等を活性化するため、望ましい学校規模を確保した学校を設置する	1,899	35.5%
生徒どうしや生徒と教員が密接な関係を築くことができるよう、小さい規模の学校も設置する	580	10.8%
教育内容の特色、生徒や地域の状況に応じた適切な規模の学校を設置する	2,299	43.0%
特にない	542	10.1%
その他	30	0.6%



アンケート結果（高校生・生徒・保護者 | 学級数別集計）（18/18）

- 所属する学年の学級数別にみても「授業や部活動等を活性化するため、望ましい学校規模を確保した学校を設置する」と「教育内容の特色、生徒や地域の状況に応じた適切な規模の学校を設置する」についてのニーズが、生徒・保護者ともに高くなっていることが分かりました。

本県では、選択幅の広い教育や、活力ある教育活動を展開するために、県立高校全日制課程の望ましい学校規模を、1 学年 4 ～ 8 学級とし、高校の再編統合等を進めてきたところです。あなたは、今後の県立高校の再編整備にあたり、どのようなことを望みますか。最もあてはまるものを選んでください。

項目	n数	授業や部活動等を活性化するため、望ましい学校規模を確保した学校を設置する	生徒どうしや生徒と教員が密接な関係を築くことができるよう、小さい規模の学校も設置する	教育内容の特色、生徒や地域の状況に応じた適切な規模の学校を設置する	特になし	その他
全体	n = 9544	37%	12%	25%	25%	1%
1 学年 2 学級以下	n = 977	30%	18%	19%	33%	0%
1 学年 3 学級	n = 1718	38%	14%	22%	26%	1%
1 学年 4 学級以上	n = 6849	38%	11%	27%	24%	1%
生徒						
全体	n = 5350	35%	11%	43%	10%	1%
1 学年 2 学級以下	n = 332	27%	20%	36%	15%	2%
1 学年 3 学級	n = 679	32%	16%	41%	10%	1%
1 学年 4 学級以上	n = 4339	37%	9%	44%	10%	0%
保護者						

まとめ

視点

子どもたちの県外
高校への流出の
意向/その理由
(中学生の希望進路)

視点

子ども（保護
者）が求める適
正な学校規模

- ① 県外流出の意向を地域別にみると岩国、和木、柳井、周防大島、下関が比較的高くなっていました。
 - 意向調査の結果よりも実際の県外進学率が高い傾向がみられ、子ども達のニーズに応える上でも対策が必要。
- ② 県外を希望する理由としては「進学したい学校または就職したい企業があるから」、「希望する進学・就職先が県内にないから」を選択されている割合が多くなっていました。
 - 子ども達の進学先に対するニーズに応える教育内容や学校配置の検討が必要。
- ③ 「授業や部活動等を活性化するため、望ましい学校規模を確保した学校を設置する」と「教育内容の特色、生徒や地域の状況に応じた適切な規模の学校を設置する」が多くなっていました。
 - 地域ごとの実情を勘案しつつも、授業や部活動等の活性化を求めるニーズへの対応が必要。